

20th Anniversary

River Raid

リバー

レイド

5月27日・28日、カヌーや自動車に乗ってさまざまな競技に挑む「リバーレイド」が、八木キャンプ場（奥泉区）を拠点に開催されました。第20回記念大会となった今大会の様子を紹介します。

動画
de 広報

「環境体感スポーツ」 第20回記念大会を開催

リバーレイドは、平成6年に新潟県で始まり、その2年後には旧本川根町で開催されました。そして昨年10月には7年ぶりに町内で開催され、第20回記念大会となった今大会も川根本町での開催となりました。

今大会には、熊本県や群馬県をはじめ県内外から約70人が参加しました。中には、20回すべての大会に参加している方や、親子2世代で出場している方などもあり、大会の歴史の積み重ねを感じさせました。

開会式では、鈴木町長が「大会を通して、この町を『第一のふるさと』としても『第二のふるさと』とあいつつし、スタートの旗を振りました。

参加者は、4人で参加する「リバーレイドクラス」とカヌー以外の競技に2人以上で参加する「ビジタークラス」に分かれて、周辺林道での自動車タイムトライアル、奥大井接岨湖カヌー競技場や大井川でのカヌー競技など、2日間で約10種類の合計得点を競いました。

What's ? ?

「リバーレイド」は「人とクルマと自然の共生」がテーマの、2～4人1組で参加する環境体感スポーツ。1泊2日のキャンプをしながら行われる「ゲーム」を通じて、環境保全と生物多様性を体感することを目指す。





1 川下りでは激流となる区間もあり、参加者は大井川の恵みを体感した。／2 相手より先にカプセルを一。工夫を凝らしたゲームが参加者を楽しませた。／3 自動車の運転技術を競う競技では、スラローム通過の速さや車止めへの停車の正確性を採点。／4 自動車タイムトライアルで渡されるのは、距離と記号のみの簡単なコマ図だけ。／5 キャンプ場では火おこし競争も。原始的な着火方法に苦戦。／6 正確さと速さが求められる「タイヤ交換」レース。チームワークと手際の良さに周囲から歓声も上がった。

リバーレイドクラス(総合部門) **優勝**

「スプリングフィールド アウトドアクラブ」



- (左から)
 鈴木 義友さん(三島市)
 水野 和久さん(岐阜県)
 工藤 崇博さん(東京都)
 大津 聡 さん(浜松市)

「春野町でカヌー教室をやっていて、そのお客さんと一緒に参加しました。カヌー競技の川下りは、川の水量が少なく、途中で止まってしまったりして苦労しました。でも川沿いの新緑や景色の変化が楽しめて、とても気持ち良かったですね」(大津さん)。

see You, Again!
 またお会いしましょう!

